

スポーツ×国際交流・協力「SPORT FOR TOMORROW」

独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC) 総合企画部 主幹 阿部篤志

TAIYO株式会社 代表取締役社長 伊藤政則

SPORT FOR TOMORROW 2014-2021



スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)は、スポーツを通じた国際交流・協力を通じて、開発途上国をはじめとする世界のあらゆる世代の人々にスポーツの価値やオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げることがめざした取組として、2014年から2021年の8年間、官民連携のコンソーシアムを形成して活動を行い、204か国・地域における1300万人を超える人々とスポーツの価値を分かち合いました。

スポーツの普及、日本スポーツ文化の展開



ネパールにおけるグラウンド建設



日本の健康プログラムの展開

開発と平和のためのスポーツ



難民キャンプでの取組



タンザニアの女性スポーツ支援

スポーツ国際交流



剣道によるフィンランドとの交流

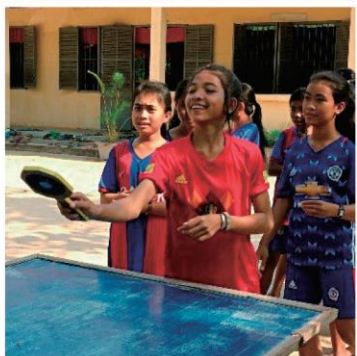


ラグビーによる被災地の国際交流

学校体育



タイでの教員研修ワークショップ



カンボジアでの体育科教育支援

国際競技レベルの向上



西が丘 HPSC 等を活用した取組



パラ参加国・地域拡大支援

国際人材育成拠点構築



国際スポーツアカデミーの開講

国際的アンチ・ドーピング 推進体制支援



クリーンスポーツ環境の整備

SFTコンソーシアム構成員数(2014-2021年度)

		2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
運営委員会		10	12	12	13	14	14	13	13
会 員	スポーツ関連団体	25	57	85	113	127	135	138	140
	民間企業	2	35	73	96	104	113	121	123
	NGO/NPO	11	45	70	83	98	101	101	98
	地方自治体	1	7	24	38	41	42	42	42
	大学	4	10	18	21	23	23	23	23
	その他	0	2	12	17	19	20	20	20
合計		53	168	294	381	426	448	458	459

新しい SPORT FOR TOMORROW、始動。

持続可能な開発目標 (SDGs) や UNESCO のカザン行動計画 (2017) への貢献など、スポーツの力を活用して、持続可能な社会や共生社会の実現に向けた国際的な取組が進められており、日本はこのような国際的な動きをリードする立場から、さまざまなスポーツを通じた国際交流・協力に一層取り組むことが期待されています。

新たなフェーズに入ったスポーツ・フォー・トゥモロー (SFT) では、構築された官民協働体制やこれまでの取組を東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして継承し、引き続きスポーツを通じた国際協力による日本の存在感を示す取組を発展的に実施していくとともに、日本の強みを活かしたスポーツ分野の国際協力事業を通じてSDGsにも貢献していきます。

SFTコンソーシアム

● 運営委員

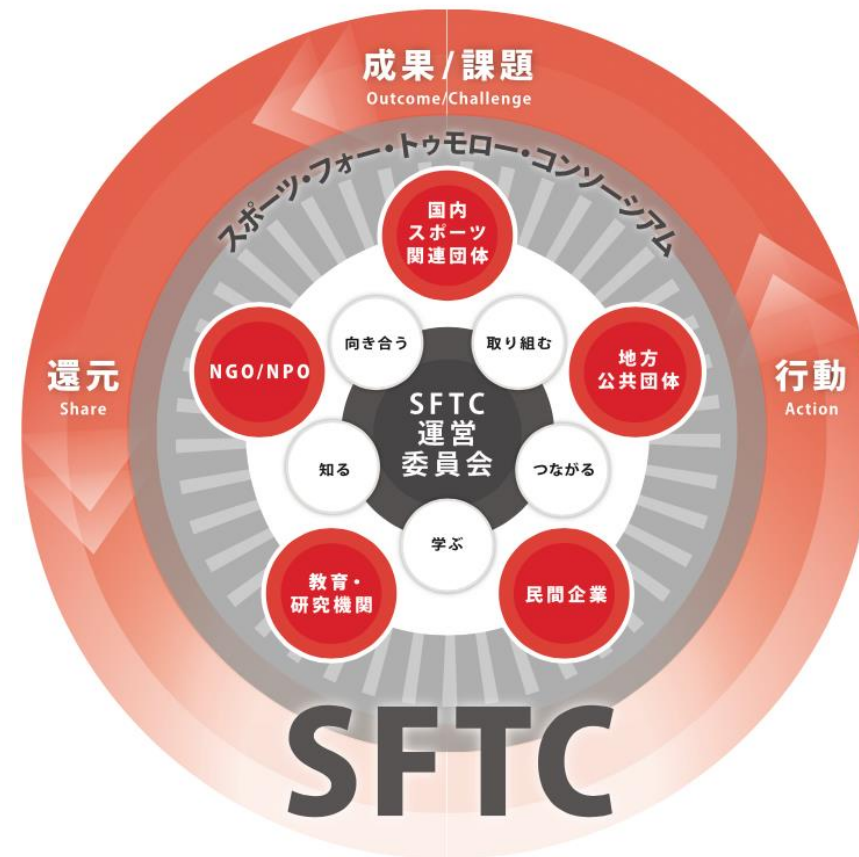
- 外務省
- スポーツ庁
- 独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)
- 独立行政法人国際協力機構(JICA)
- 独立行政法人国際交流基金(JF)
- 独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)
- 公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)
- 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 公益財団法人日本パラスポーツ協会/日本パラリンピック委員会(JPSA/JPC)
- 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)
- 国立大学法人筑波大学
- 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
- 東京都

● 会員

- スポーツ関連団体、地方公共団体、民間企業、教育・研究機関、NGO/NPOなど

スポーツを通じた社会課題の解決
世界における日本のプレゼンスの向上

国内外のフィールドで
スポーツを通じた国際交流・協力を推進



変化を生み出す、SFTCの新たなプログラム&サービス

SFTCでは、コンソーシアム会員が国内外のスポーツや社会におけるニーズや課題に向き合いながら、その解決に繋がる効果的な活動の実践や事業改善に取り組みよう、さまざまなプログラムやサービスを通して、より良い成果創出を支援します。



SNSや会員限定メールマガジンなどを通して、スポーツを通じた国際交流・協力に関する情報をワンストップで入手できます

新たな活動を行う上での課題・ニーズの共有、資源の調達、官民連携による機会・コラボレーションの創出を支援します

知る



学ぶ



国際動向や課題・ニーズを踏まえたセミナーやワークショップ、カンファレンスでは、活動に必要な情報や知見を提供します

向き合う

つながる



取り組む

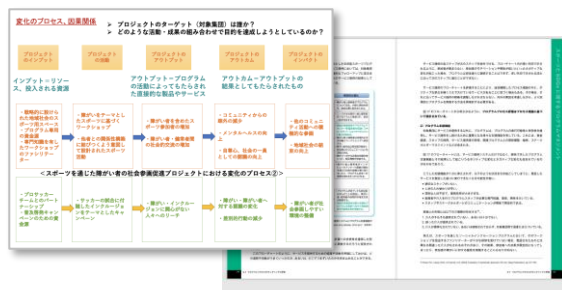


適切な活動計画やモニタリング・評価などに関する国際的なガイドラインや専門家によるアドバイスにアクセスできます

2022-2023



スポーツ国際開発リカレント研修
(2022年12月～2023年2月で実施)



M&E (モニタリング・評価) ワークショップ
(2023年1月～2月で実施)



事業計画アドバイス相談会
(2023年2月～3月で実施)

2023-2024

- 会員の活動に役立つ情報や科学的・実践的知識の集約・提供
- 協創基盤としての新たなコミュニティスペースの立ち上げ etc.

SFTとTAIYOによる「スポーツ×国際交流・協力」

イベント開催と中古備品の寄贈

【第1回 フセイニカスタム病院 × TAIYO Cup】がSFTに、国際貢献事業として認定

https://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/taiyo-cup_20211201/?fbclid=IwAR2fu2q99pL_yvQslmC_WyOytOi9AMAVPZAvumkwql183CG7o6iyjRmY3a0

主な協力・連携先：SFT、フセイニカスタム病院、A-GOAL、茨城県ユニセフ協会、Y.S.C.C横浜、なまずクラブ

ナイジェリア バドミントン連盟と共同で実施した【パリ2024出場に向けた強化トレーニング】

<https://www.youtube.com/watch?v=Rp9XntB3h9M>

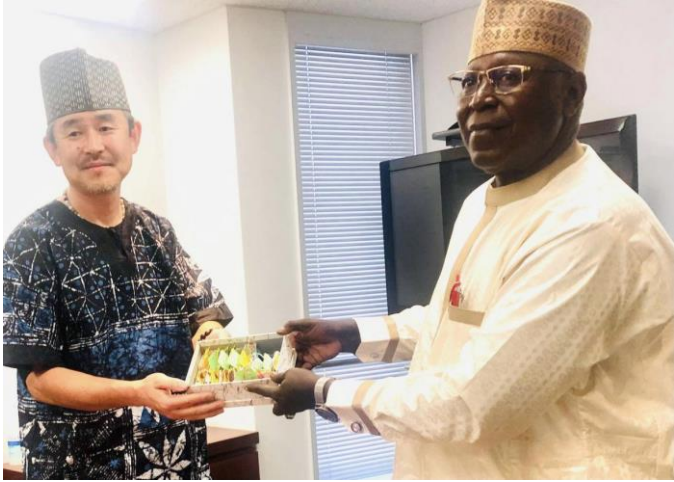
主な協力・連携先：SFT、ナイジェリアバドミントン連盟、鈴木利拓、なまずクラブ

イタリア代表U16-U19バスケットコーチによる【バスケットクリニックによる異文化交流】

https://www.youtube.com/watch?v=IQOrKTp_Ggc

主な協力・連携先：SFT、上田康徳、栃木県バスケット協会、小山市バスケット協会、小山市スポーツ協会、小山市国際交流協会、なまずクラブ

主にSFT会員様より寄贈いただいた備品の数々を代理で贈呈 (2017年より重量にして約2 t)



在ナイジェリア日本国大使館による「スポーツ×国際交流・協力」

第2回 ナイジェリア空手道日本国大使杯



写真は全て松永大使よりご提供いただきました。

松永大使スピーチ

本日は、第2回ナイジェリア空手道日本国大使杯にご参加いただきありがとうございます。昨年に続き、この素晴らしい大会を今年も開催することができ、大変嬉しく思っています。2021年夏に開催された東京オリンピックでは、空手がオリンピック競技として初めて採用され、世界中の空手家たちが素晴らしい闘いを繰り広げました。また、今年6月、私はアブジャ軍が主催する空手大会にも参加しました。精神面や身体面を鍛えるために、ナイジェリアの軍隊でも空手が導入されていることに、日本の武道の益々の可能性を感じています。

武道での研鑽を通じて、日本人は勤勉さ、互いを尊重する精神、規則の遵守、正直、公正さ、責任感など様々な美德を身につけ、それらが今日の日本の経済発展をもたらしました。同様に、空手はナイジェリアにも経済発展をもたらし、より偉大な国にすることでしょう。

先日日本に帰国した際、JKFの笹川会長とお会いし、今回も中古道着27着を寄贈いただきました。また、WKFの奈藏事務総長ともオンラインで面会し、今後のナイジェリアの空手振興に貢献していくことで一致しました。これからも、日本大使館は、WKF、JKF、KFNと連携して、道着の寄贈や器材の供与など、様々な側面からナイジェリア人空手家の皆さんを支援していきたいと考えています。

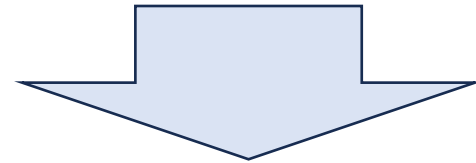
今日は、最近WKFが始めた素晴らしい取組を、ひとつ皆様にご紹介したいと思います。WKFは、GGGKP (Guardian Girls Global Karate Program) という、女性をジェンダーバイオレンスから守るためのプロジェクトをUNFPAと共同で開始しました。これは、女性のための護身術を世界に広めるプロジェクトであり、国連や日本の外務省も全面的にバックアップしています。今日は、そのビデオを見ながら、会場の皆さんと一緒にやってみたいと思います。空手が初めての女性や子供でも簡単に習得することができる内容となっており、きっと皆さんの人生のお役に立つことを約束します。

最後に、これまで研鑽を積んできた選手の皆さん、彼らを支えてきた先生方及びKFNの皆さんに敬意を表したいと思います。引き続き、皆さんとともにナイジェリアの空手振興に協力していけることを心から楽しみにしています。また、会場入り口に日本企業からの提供によるポカリスエットを用意しましたので、自由にお飲み下さい。本日の大会が、皆様にとって心に残るものとなるならば、これほど嬉しいことはありません。ありがとうございました。

室伏広治長官

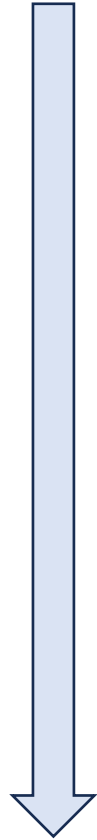
「信頼を得た上で、何をするか」これが今後の大きなテーマ

<https://jspin.mext.go.jp/interview-koji-murofushi/>



TAIYOの取り組みと考え

弊社が実施した【信頼の積み重ね】



アスリートをクラブチームなどの代理で探す
中古スポーツ用具を寄付者の代理でナイジェリアに持参し贈呈



主な協力・連携先
スポーツ・フォー・トゥモロー

↓ ↑ **信頼**

ナイジェリアオリンピック委員会の公式パートナーになる

↓ ↑ **信頼**

在日ナイジェリア人アスリートへの更なるサポートを実現
アスリート同士・子ども同士による、異文化交流・国際交流が実現



ナイジェリアハウス(栃木県小山市)
の認定と活用

↓ **信頼が新たな展開を生む**

ナイジェリアオリンピック委員会にアンチ・ドーピング教育を提案
ナイジェリアアンチ・ドーピング委員会と繋がる



主な協力・連携先
在ナイジェリア日本大使館
日本アンチ・ドーピング機構

↓ **育まれる**

ナイジェリア人アスリート向けのアンチ・ドーピングWebサイト構築中

次の展開を考えるには【視野を広く持って取り組む】



日本側も相手国も、**相手に寄り添う**

新たな取組みが見えてきて【信頼が積み重なる】

バスケットボールアカデミーの開設、バレーボールアカデミーの開設、陸上長距離アカデミーの開設(調整中)

「スポーツ×国際交流・協力」の仕方は、立場で『違い』が出る

個人をベース(スポーツをする立場が主)

異文化交流(生活・食・宗教・教育など)ができ、言語力やコミュニケーション能力が向上します。

⇒ これらは、個人の感覚や解釈に基づくので測定しやすいでしょう。

国際スポーツイベントをベース(スポーツを見る立場が主)

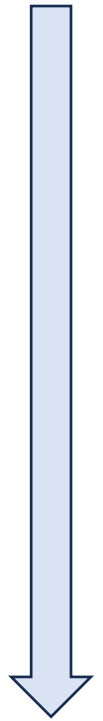
ワールドカップやオリンピックといったビッグイベントへの取組みや自社でイベントを主催することで集客や商品開発による交流や協力ができ、また、スポーツツーリズム(スポーツで旅を楽しむ)と地域活性化を組み合わせることは、それぞれの特性を活かした交流や協力が可能です。

⇒ これらは、社会や地域の経済にどの程度波及したか？ 効果測定は統一されているものか？など、自身に都合の良い測定や評価にならないよう考察する必要があるでしょう。

教育・アカデミックをベース(スポーツを教える立場が主)

交流や協力をすることでグローバル人材の育成もできます。科学の力でアスリートをサポートされている場合は、アカデミック性や実用性を収益化できる世界進出への鍵が常に存在します。

⇒ アスリートとの連携やSFTとの連携などが、新しい展開への扉を開くことに繋がるでしょう。



共通すること。それは、「スポーツは【共通のルール】のなかで行われている」ということ

立場による違いはビジネス社会にもあります。自社と相手先企業以外に、国や地域毎にも違いがあり、それは「ルール」と呼べるでしょう。そしてスポーツにも「ルール」が存在します。

しかし、スポーツのルールは世界共通です。人種や肌の色の違いも関係のない「共通のルール」です。その共通のルールでスポーツは世界と交流・協力しています。共通のルールであるからこそ相手と分かり合える部分が多く、その思考の延長でビジネスを考えたり取り組まれたりすることはいかがでしょう。

スポーツには、社会課題を解決する力があります。

皆さんは、中古のボールをどのように渡しますか？

条件は一般的なこと

- ・相手は途上国
- ・ボールはサッカーでもバスケットでも
- ・日本で寄贈されたボールです
- ・寄贈の目的はスポーツによる国際交流です
- ・運搬方法は自由です

社会課題を解決に導く考えがここにあると、私は信じています。

SFTコンソーシアムからのご案内

SFTC会員募集中



- 現在、約80団体が加盟（スポーツ関連団体、自治体、民間企業、教育機関、NGO/NPOなど）が加盟
- 会費無料



皆様のご登録をお待ちしています！

SFTC会員交流会参加・出展募集中

SFTC会員交流会

10月30日(月)

参加費無料
(*懇親会は会費制)

15:00~17:00 (懇親会17:45~19:00)

会場:ベルサール西新宿

スポーツ×国際交流・協力実施者、関係者による交流会

2
0
2
3

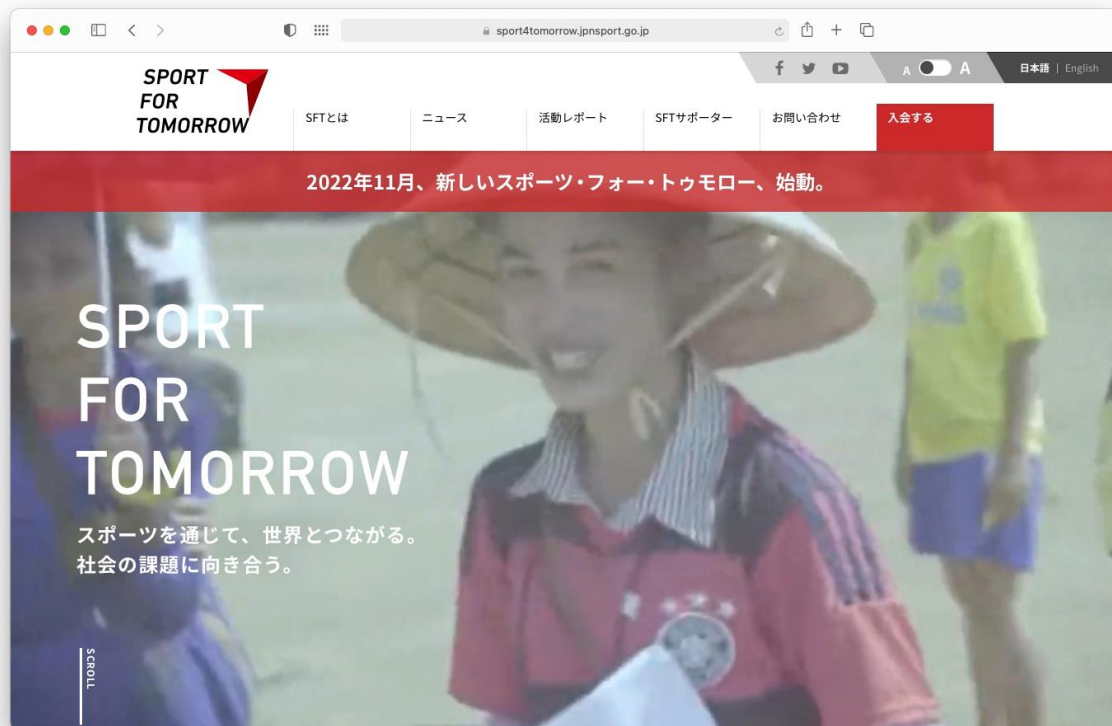
- 新SFTとしては初の会員交流会（対面）
- SFTC入会申込済であれば参加可能
- 出展ブースも募集中（資料配布でもOK）



皆様のご参加をお待ちしています！

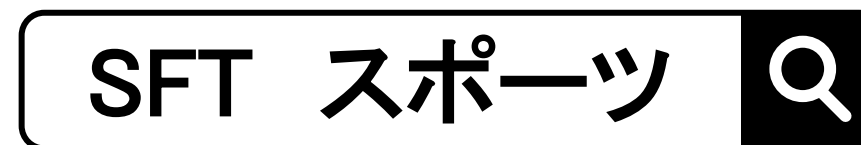
詳しくは

SPORT
FOR
TOMORROW



▶ SFTウェブサイト

<https://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/>



▶ SFTC事務局メールアドレス

sft.info@jpnsport.go.jp



X

[@sport4tomorrow](https://twitter.com/sport4tomorrow)



Facebook

[@sport4tomorrow](https://www.facebook.com/sport4tomorrow)



YouTube

[@sport4tomorrow](https://www.youtube.com/sport4tomorrow)